【 札幌市防災協会 独自講習（団体講習：有料）における、
新型コロナウイルス感染拡大防止対策について 】

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議では、集団感染が確認された場に共通するのは、3つの条件が同時に重なる場であるとの見解が示されました。

1　換気の悪い密閉空間（密閉）
2　人が密集する場所（密集）
3　近距離での会話や発声（密接）

このことを踏まえ、講習実施の際には下記に十分留意して講習を実施いたします。
受講者の皆様についてもご理解、ご協力をお願いいたします。

1　衛生管理の徹底

- 使用資器材の消毒（資器材を使用する都度、講師が次亜塩素酸ナトリウム希釈液で消毒）
- 手指消毒（講師、受講者ともにアルコール除菌シート、微酸性次亜塩素酸水で消毒）
- 休憩時間中など、微酸性次亜塩素酸水を噴霧し空間等の除菌を行います。
- 訓練人形へ直接息を吹き込む人工呼吸は、当面の間省略します。
  （※講習は、人工呼吸が拒まれる場合の心肺蘇生法の要領により実施します。）

2　密閉の回避

- 休憩時間中には、扉、窓等を開放し換気をします。一時的に室温が下がることがあります、ご了承ください。
- 受講者の皆様もその場所から一度退出し、外気を取り入れるようお願いいたします。

3　密集の回避

- 当面の間 1 グループ（7 名）とし、講師、受講者同士の距離（間隔）を確保させていただきます。（約 2 メートル間隔）
- 距離（間隔）確保のため、できるだけ広い会場（1 グループ約 30 ㎡（約 18 畳））のご用意をお願いいたします。
  （広い会場をご用意できない場合は、分散受講（時間、日程、場所を分けるなど）をお願いいたします。）

4　密接の回避

- 受講者の皆様もマスク着用をお願いいたします。
- 講習中は、受講者同士の距離（間隔）、また、講義中の私語等にご留意お願いいたします。

5　その他

- 咳エチケット、手洗い、うがいなど基本的な感染対策の徹底をお願いいたします。
- 前日もしくは当日に発熱がある方、また、体調不良の場合は、無理をなさらずにご参加を慎重にご検討ください。